



表紙写真/万座毛

# CONTENTS

ご覧になれます。

- 1 **くがにくとぅば**[黄金言葉] vol.151  
**ないもの探しばかりで、あるもの探しをしていない**  
株式会社 南都 代表取締役社長 大城 宗直
- 6 **おきぎんマーケティングレポート**  
**第65回おきぎん企業動向調査**  
**(2016年7～9月期)調査結果**  
～県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2016年10～12月期見通し)～
- 14 **地域リレーションシップ情報**⑭  
**沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組について**  
**省エネルギーの普及・啓発の取組**
- 16 **けいざい風水**
- 18 **最近の県内経済の動向**  
2016年7月の県内景況
- 20 **国内景気動向**
- 22 **沖縄マーケティング情報**
  - ①沖縄県内の事業所数・従業者数・人口・世帯数
  - ②世界の中の沖縄(年次)
  - ③グラフでみる沖縄経済
  - ④数値でみる沖縄県・全国の経済動向(月次)
- 42 **経済社会のできごと**(沖縄、国内・海外)  
2016年8月
- 44 **おきぎん調査レポート・バックナンバー**(分野別)
- 48 **ゆがふ編集後記**

# ないもの探しばかりで、 あるもの探しをしていない



自然と文化の懸け橋

株式会社 南都

http://www.gyokusendo.co.jp

代表取締役社長

大城 宗直



今回は、那覇空港から車にて30分で沖縄の歴史・文化・自然が体験できる県内最大級のテーマパークおきなわワールドなどの観光施設を運営する株式会社 南都の大城 宗直 代表取締役社長に経営ビジョンや沖縄観光の課題等についてお話を伺って参りました。

## 沖縄にある素材を世に広めていく

私共は、昭和46年に創業し玉泉洞のオープンから始まって今年で45周年を迎えました。

沖縄にある素材を世に広めていくという使命を持ち、それに付随して施設を拡げてまいりました。

### (施設内容)

|             |           |      |
|-------------|-----------|------|
| 玉泉洞         | S 47年 4月  | オープン |
| ハブ博物館       | S 54年 4月  | 〃    |
| レストラン       | S 56年 10月 | 〃    |
| 南都酒造所       | H 4年 8月   | 〃    |
| 石垣島鍾乳洞      | H 7年 10月  | 〃    |
| おきなわワールド    | H 8年 7月   | 〃    |
| 大石林山        | H 14年 3月  | 〃    |
| 石垣島サンセットビーチ | H 16年 5月  | 〃    |
| ガンガラーの谷     | H 20年 8月  | 〃    |

おきなわワールドでは、人気のハブのショーを毎日開催していますが、観せるだけではなく、ハブの加工品やハブ酒の製造も行っており、特にハブ酒のマーケットシェアは8割近くが私共の商品で、気が付けば何十年も好調に売れ続け

ています。当初の製造方針を含めて、沖縄らしさがあったからこそ続いていると思います。



▲「ハブ酒」



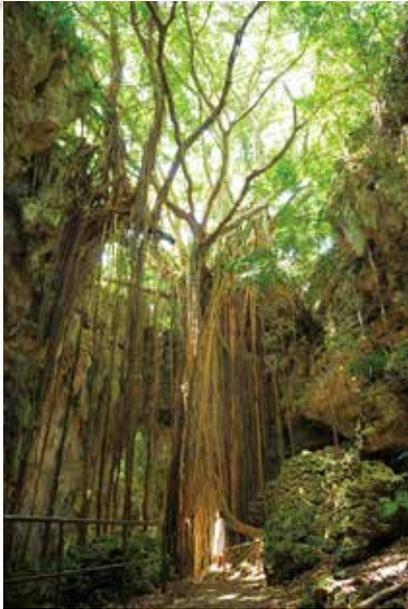
▲ハブ酒ベースの新感覚ハイボール「琉球ハブボール」

## プラスの発想で取り組んだ「ガンガラーの谷」

平成13年に起きた『9.11アメリカ同時多発テロ』の影響で、沖縄の観光産業があれだけの風評被害を受けたのは初めてであり、その後暫くは、事業縮小等のマイナスの話ばかりでしたが、そうした中、プラスの発想で取り組んだのが平成20年8月にオープンした「ガンガラーの谷」でした。沖縄初のガイドングツアーです。

「ガンガラーの谷」は、数十万年前までは鍾乳洞だった場所が崩れてできた、豊かな自然が残る亜熱帯の森です。約1万8,000年前に生きていた「港川人」の居住跡としての可能性が高く、今も沖縄県立博物館・美術館と連携して発

掘調査が行われ、「自然」や「命」に思いを巡らせながら体感していただくことをコンセプトにしています。おかげさまで、年間9万人もの観光客が訪れています。



▲ガンガラーの谷の「大主（ウフシュ）ガジュマル」

今回、「ガンガラーの谷」の発掘調査の現場で、約2万3千年前の世界最古の「釣り針」が発見され、話題となっています。現場はオープンにしており、発掘作業中に観光客から声を掛けられたら、現場の調査員さんがしっかり説明されています。こうしたのも新しい観光の役割ではないかと思えます。

また、「ガンガラーの谷」の入り口には、鍾乳洞そのままをオープンカフェにしたケイブカフェがあり、夜間はケイブパーティプランを提供しています。世界から注目されるMICE会場となるように商品開発を進めた結果、平成26年10月に、MICEコンテンツコンテスト「県知事賞」を受賞しました。



▲オープンカフェ「ケイブカフェ」

## 十年一昔

「観光」の形態は十年一昔であり、がらっと変わります。

インバウンド（訪日観光客）も含めて沖縄への家族旅行は、個人でネットにて航空券と宿泊所を手配し、特に旅行プランは立てないなど、柔軟になってきています。移動手段は、インバウンドも国内観光客同様、レンタカーが多く、台湾、香港、韓国からのお客様は個人化が驚く速さで進んでいます。修学旅行は農家での体験学習等の民泊が増えてきています。

このように、「観光」の形態は変化しており、ものの見方が本当に難しい時代になってきていますが、私共は、原点である沖縄の歴史、文化、自然に拘りながらも、伸ばせる新しい可能性を探っていかないといけないと考えています。

また、現在、戦争経験者が高齢化しており、県南部地域にて、「平和」と「観光」をどのように連携させていくのか、取り組まなければならない分野の一つだと認識しており、これから十年で大きく変わってくるかと思えます。

「玉泉洞」の開発にあたっては、慰霊観光等の南部のイメージの中に、明るい観光の素材をつくりたいという想いでオープンしましたが、当初は「ガマ」と比べられたこともありました。

今後は、「玉泉洞」を含めた「おきなわワールド」の南部観光の位置付けについても考えていきたいと思えます。



▲年間100万人が訪れる鍾乳洞「玉泉洞」

## 地元の方に来ていただける機会を作る

私共は、春夏秋冬でイベントを打っており、年々、企画が増えています。例えば、数年前から夏季限定のイベントとして、玉泉洞の未公開エリアの洞窟をケイビングインストラクターと一緒に探検する、「南の島の洞くつ探検」を催しています。



▲「南の島の洞くつ探検」

探検服のリースを取り入れてから、売上は上がっており、特に大人の女性に人気があります。加えて、このイベントでは「夫婦の日(7/22・8/22・9/22)」を設けて特割し、洞窟は暗いので手を繋ぐ機会ができるということでも楽しんでいただいています。

また、インバウンド向けの企画にも取り組んでおり、表現や面白く見せる方法等を、各国の添乗員のアドバイスを得ながら取り組んでいます。

一方、地元のお客様も大事であり、地元の方に来ていただける機会を定期的に作っています。おきなわワールドではお正月、ゴールデンウィークは子供向けアトラクションを定期的に催しており、他に、「ガンガラーの谷」のケイブカフェでは音楽コンサートを催したりして、これを機に観光もできるような仕組みも作っています。



▲「ガンガラーの谷」のケイブカフェでの音楽コンサート



▲「魂の音楽祭 マブイオト」

## 南部東道路の整備でアクセス改善が期待

現在、南城市知念・佐敷・玉城・大里から南風原町を経由して、那覇空港自動車道に連結する南部東道路が整備中です。



▲「南部東道路」～沖縄県HPより～

北部の恩納村は道路が真っ直ぐなため、分かり易いのですが、「おきなわワールド」は意外と空港に近いにも関わらず、道路網が整備されていないため、分かりづらさがあります。

南部東道路の整備で当所へのアクセスが大幅に改善されることが期待できますが、最近では大型ホテルの建設も計画されている那覇市以南との道路の連携も今後、期待しており、お客様目線に立った市町村間の連携も必要だと思います。

## ないもの探しばかりで、あるもの探しをしていない

来沖したデービッド・アトキンソン氏（ゴールドマン・サックス証券の元アナリス・小西美術工芸社代表取締役社長）もおっしゃっていましたが、沖縄観光には他の都道府県と比べて、まだまだ魅力的な素材があるにも関わらず、ないもの探しばかりで、あるもの探しをしておらず、沖縄の魅力的な素材を十分PRできていないと思います。

例えば、身近なことだと、那覇市内でも朝起きたら鳥が鳴いていますし、夕日が海に沈む景色も簡単に眺められたりします。また、北部やんばるでは、星空が綺麗に見えます。このような情景は都会に住んでいる方々から見ると有り得ないものです。沖縄でどこの星空が綺麗なのか、観光業界でも、もっと議論していいかもしれません。

## 「やんばる地域」が「やんばる国立公園」に指定。世界自然遺産登録を目指す

名護・本部以北の北部観光に訪れる観光客はまだまだ少ないのですが、幸いにも、国頭、東大宜見3村にまたがる「やんばる地域」が平成28年9月15日に「やんばる国立公園」に指定され、世界自然遺産登録を目指すことになりました。「やんばる地域」には、国内最大級の亜熱帯照葉樹林が広がり、やんばる固有の動植物や希少動植物が生息します。

そこで、「大石林山」では、自然散策に加えて、①奄美を含む琉球文化圏と自然、②沖縄の島々の成り立ち、③名護以北の自然環境についてしっかり伝えていく施設の着工を年内に予定し、行政、住民、企業間ともしっかり連携して世界自然遺産登録を盛り上げていきます。



▲沖縄本島最北端の絶景スポット「大石林山」

## 「ナイト観光」

私は、「ナイト観光」を常々やりたいと考えています。現在、夕方に到着して、沖縄の文化を観光する機会がほとんどありません。男だけなら飲み屋街に行く楽しみもありますが、家族でお越しになられる場合は、着いた日は何も観光せずに、食事して寝るだけになってしまいます。

これまで、夕方の渋滞の問題がありましたが、南部東道路の整備で渋滞が解消されれば、夕方に空港に到着されたお客様をスムーズに「おきなわワールド」にお連れし、私共の評判の高いスーパーエイサーや地元の伝統芸能等を観て楽しむことができます。次のステップとして是非チャレンジしたいコンテンツです。

## 一貫して沖縄の歴史・文化・自然に拘る

私は何でも自分の目で見て判断するように心掛けています。「百聞は一見にしかず」ということわざもありますが、インターネットなどで情報が拡散しており、実際に行ってみると違う場合が多く、真実が伝わりづらい世の中です。自分で見て、人の話を聞いたりする機会を大事にしています。

また、社員には、いろいろな所を自身で観光してみて、自分達の職場はどうなのか、比較して発見できるような観光を大事にして欲しいと思います。私共の観光施設は常に受入側ですから、外に出て気付くことが多いものです。

私自身は、全国の観光業界の勉強会で、いろいろな観光に触れる機会が多いのですが、ひとつのことに拘ることに、非常に力強さを感じています。ひとつのことに拘り、筋を通した商いは根強くて、分かりやすく、受け入れられやすいということです。

私共は、一貫して沖縄の歴史・文化・自然に拘り歩んでまいりました。今後も拘り、発展していきたいと考えております。



# 琉球神話の杜に広がる 自然と対話する場所。

沖縄最初の聖地とされ、降臨伝説が伝わるこの地は、切り立った奇岩巨石が林立する険しい姿と、豊かな亜熱帯の自然という2つの顔を持つ。4つの散策コースで琉球神話の杜を歩こう。

トレッキングコース完備！普段着でお越し下さい。

悟空岩 2億年の歳月を経た絶景。(熱帯カルスト地形)



4連の岩山からなる  
大石林山



御願ガジュマル  
御願とは願い・祈りを意味する  
沖縄の方言。

## アシムイスピリチュアルガイドツアー **要予約**

遙か昔に神が降臨したという伝説がある大石林山を専門ガイドの案内で歩くツアー。  
◎ツアー時間(約120分) (1)10:30～ (2)14:00～

**料金 大人 2,060円 小人 1,030円**



## ASHIMUI CAFE

### アシムイカフェ

大石林山 散策コースの起点にあるカフェ。沖縄で人気の35  
コーヒーやヤンバルの葉草を使った特製ピザがおススメ。  
※カフェのみご利用はできません。(大石林山の入山料が必要です。)



2億年の地球、感動の旅

## 大石林山

だいせきりんざん 南都グループ  
www.sekirinzan.com

国頭村字宜名真1241

予約・問合せ ☎0980・41・8117  
☎090・2585・8111

営業時間 4月～9月/9:00～17:00(受付)  
10月～3月/9:00～16:00(受付)

入山料金 大人 820円/小人 520円

バリアフリーコースもあるので、ご年配の方や車イスでも安心。  
※掲載料金は、2014年4月以降のものです。



天然記念物・大鍾乳洞  
【玉泉洞】  
美しい珊瑚礁からできた、  
全長5Kmからなる鍾乳洞。



国・登録有形文化財  
【琉球王国城下町】  
築1000年以上の古民家では、  
工芸制作体験ができる。

## 沖縄の歴史・文化・自然をまるごと体感！



【スーパーエイサー】  
躍動感あふれる演舞は必見！  
(1日4回公演)



【ハブのショー】  
怖いけど笑える！？  
(1日5回公演)



【健食バイキング ちゅら島】  
80種類以上のメニューに大満足！  
(営業時間 11時～15時 ※昼食90分  
ラストオーダー)

沖縄が誇る国際的観光地 南城市玉城字前川 1336(南風原南インターから6Km)  
国・登録有形文化財/沖縄県指定博物館相当施設 **おきなわ** 南都グループ  
【動物園について】株式会社 南都 代表取締役社長 大城 宏泰 園長  
平成24年3月16日～平成29年3月14日(園務巧 伊勢田南義 鈴木裕章 堀野聖) ※掲載料金は、2014年4月以降のものです。



語りはじめた、森の賢者



ケイブカフェ  
地下水流が作った巨大空間。  
数万年前の古代人居住跡の可能性  
から発掘調査が行われている。



イキガ洞・イナグ洞  
過去から今につながる信仰の場。  
命の誕生を願う。



鍾乳洞が崩落してできた谷間に  
広がる森を専門ガイドと共に廻る  
1時間20分のツアー。  
※予約制ツアー以外での入場は  
出来ません。



南城市玉城字前川 202(おきなわワールド向かい)  
【ツアー予約】 ☎098・948・4192  
【ツアー受付】 9:00～18:00 年中無休  
【ツアー料金】 大人2,200円/学生1,700円/中学生以下無料  
【ツアー出発】 10時・12時・14時・16時(要予約)  
※掲載料金は、2014年4月以降のものです。

# けいざい 風水

## ✦ 多様化する特殊詐欺

### 県内の被害額2億超

近年、高齢者を狙った詐欺被害が増加しています。以前は息子や孫になりすましたオレオレ詐欺が主流でしたが、最近では税務署や社会保険庁、役所などの職員になりすました還付金詐欺のほか、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、金融商品等取引詐欺など多様化しており、これらは特殊詐欺と総称されています。お金の受け取り方も現金自動預払機（ATM）による振り込み以外に、宅配便を利用した配達型や被害者の自宅に直接取りに来る現金受け取り型など手口が巧妙化しています。

県内の特殊詐欺被害状況（2011～15年累計値）を見ると、件数では架空請求詐欺が46件と最も多いものの、被害総額では金融商品等取引詐欺が2億6,100万円と群を抜いています。

このような状況を踏まえ、警察においても県民の被害防止を図るべく、年金振込日には各金融機関で署員が特殊詐欺防止のパンフレットを配布してだまされることのないよう注意を促しています。

取引詐欺では、一般に取り扱えない「未公開株売買」を持ち掛ける例が多いとされます。また法律で禁じられている「絶対もうかる」と断言する場合もあり、こうした電話は詐欺を疑ってください。

特に、一人暮らしの高齢者は狙われやすい環境にあると考えられますので、家族や親族は定期的に電話をかけて近況を聞いてみることや、高齢者が近隣住民に相談できる地域環境づくりなどの対策を図る必要があります。地域金融機関としても、行員一人一人がお客さまへ注意を呼び掛け、被害防止に努めていきます。

（沖縄銀行 与儀支店長 大城 直昭）

### 県内の特殊詐欺被害状況 (2011～15年累計値)

| 内 訳        | 件数  | 被害総額概算(千円) |
|------------|-----|------------|
| オレオレ詐欺     | 1   | 500        |
| 架空請求詐欺     | 46  | 61,600     |
| 融資保証金詐欺    | 12  | 4,440      |
| 還付金詐欺      | 18  | 17,300     |
| 金融商品等取引詐欺  | 22  | 261,000    |
| ギャンブル必勝法詐欺 | 25  | 81,500     |
| その他        | 5   | 39,510     |
| 合計         | 129 | 465,850    |

那覇警察署資料を基に筆者作成  
(平成28年5月22日掲載)

## ✦ 入域観光客数の動向

### クルーズ船増え好調へ

県が発表した2015年度の入域観光客数は793万6,300人と過去最高を記録しました。内訳を見ると、前年度との比較では、国内観光客数が8万2,100人増の626万6千人、外国人観光客が68万4,300人増の167万300人となっています。

増加の要因としては、年度全体を通じた円安傾向による国内外旅行者の需要増加、海外航空路線の拡充やクルーズ船の寄航回数増による外国人観光客数の大幅増加、国内外における継続的なプロモーション活動の奏功などが挙げられています。

引き続き、16年度も国内観光客は航空会社の航空路線拡充の動きなどから堅調な推移が見込まれます。

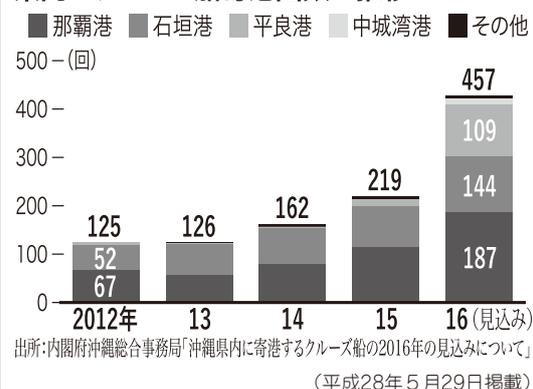
そして外国人観光客は、航空路線拡充に加えて、那覇港をはじめとしたクルーズ船寄航回数が15年度の2倍以上に増える予定のため、好調に推移するものと予想されます。

また、秋には5年ごとに開催される世界のウチナーンチュ大会も予定されており、さらなるプラスの効果が見込まれます。アジア圏をはじめとした訪日観光客がここ数年急増していることから、文化、習慣、言語の違いなどを含めた受け入れ態勢の整備が急がれます。

県は5年後の21年度までに入域観光客数1千万人達成を目指しています。今後も沖縄の豊かな自然環境や歴史・文化・スポーツ資源を活用した沖縄独自の観光プログラムの展開など、安心、安全、快適なリゾート観光地として選ばれ続けるための戦略的な取り組みが期待されます。

（沖縄銀行 松城支店長 川満 賢朗）

### 県内のクルーズ船寄港回数の推移



## ✦ パナマ文書の影響

### 公正課税の進展促す

中米パナマの法律事務所から流出した「パナマ文書」には、世界各国の政治家やスポーツ選手など約36万件の個人名と約21万社に及ぶ膨大な情報が含まれ、大きな反響を呼んでいます。それ以上に注目されたのが「タックスヘイブン」の存在ではないでしょうか。

タックスヘイブンとは日本語で「租税回避地」を意味し、一般的に、法人税や所得税などの税金が無税あるいは極めて低い国や地域を指します。領土が小さく自国産業がない地域もあり、外国の企業や富裕層などからの資産誘致を支援する法律事務や税務などのビジネスが雇用を支えている一面も見られます。

それではパナマ文書の公表により、どのような影響が考えられるのでしょうか。まず、タックスヘイブン以外の国にとっては、大企業や富裕層などの資金流出により自国の税収が減ってしまいます。すると、長期的には公共サービスの維持が難しくなる恐れがあり、一般市民の税負担が増える可能性などが考えられます。

また、タックスヘイブンが犯罪組織などのマネーロンダリング（資金洗浄）といった不正の温床に利用されている可能性についても指摘されています。

このような背景から、今後は自国からの資産流出に対する規制強化やタックスヘイブン諸国に対する情報開示を強く求める方向に進むと思われます。政治や企業活動など、世界経済全体に与える影響は計り知れませんが、公正な課税に向けた取り組みの進展に期待したいと思います。

（沖縄銀行 石嶺支店長 與儀 健一郎）

## ✦ 「時は金なり」

### 公共交通整備に生かそう

「時は金なり」は、ご存じの通り「時間は、お金と同じくらい大切なものだから有効に使いなさい」という意味のことわざです。われわれ県民の交通手段といえば、バスやモノレールなどの公共交通機関より、自動車に大きく依存している社会といえます。

国土交通省の「道路交通センサス」から1日（24時間）当たりの平均交通量の推移を見ると、県内は全国を大きく上回り、減少する兆しが見られないようです。

2010年には県内平均が1万1,325台で全国平均の7,829台の約1.45倍となっていることから、主要な幹線道路では朝夕のラッシュ時など慢性的な交通渋滞に悩まされていることがうかがえます。

このような背景もあり、県が策定した「21世紀ビジョン基本計画」では鉄軌道を含む新たな公共交通システム導入の必要性が示されました。公共交通機関の整備は、交通渋滞の緩和と渋滞に伴う経済損失の軽減に効果があるほか、那覇市近郊に集中する人口の分散や鉄軌道沿線の地域活性化などにも大きく貢献するものと思われます。また、県民や観光客の移動利便性の向上という観点からもプラスの効果が期待されます。

現在、モノレールについては浦添地区への延伸工事が進められています。これに加え新たな鉄軌道の導入は、ルートを選定、建設費の調達、完成後の採算性など、まだまだ解決すべき課題が多くあります。長期的な視点とともに「時は金なり」の観点も踏まえた有効な議論が進むことを期待したいと思います。

（沖縄銀行 鳥堀支店長 東嵩西 朋一）

### 主要なタックスヘイブンとされる国・地域

**アジア** 香港・シンガポールなど

**中米カリブ海**

パナマ・ケイマン諸島・英領バージン諸島・バミューダ諸島など

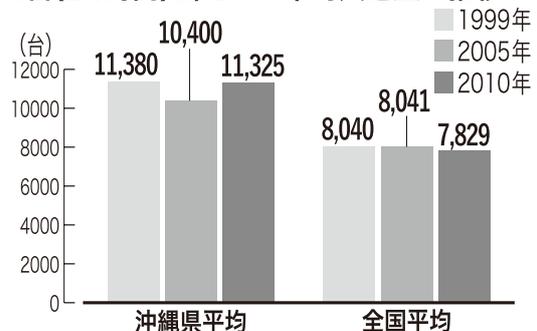
**ヨーロッパ**

スイス・アイルランド・モナコ公国・オーストリア・マン島・ルクセンブルクなど

**中東** ドバイ（アラブ首長国連邦）など

（平成28年6月5日掲載）

### 1日(24時間)当たりの平均交通量の推移



出所：国土交通省「道路交通センサス」

（平成28年6月12日掲載）

## ゆがふ編集後記

### 沖縄で、スポーツだーっ

今から待ち遠しい東京オリンピックですが、その喜びを県民に増幅させたのは沖縄発祥の空手が、オリンピックの正式種目となったことでしょう。

空手の「型」とは？と、ユーチューブを開いて見て、もうびっくり仰天、大げさでなく感動の世界でした。2012年の世界選手権フランス大会、女子「型の部っs」優勝者宇佐美里香選手の演武を見て釘付けになってしまいました。その美しさは言葉に尽くせず、また彼女の演じる型が「チャタンヤラ クーサンクー」という沖縄空手の型である、という事、そして世界大会を初め空手界で演じられている型はほとんどが沖縄空手を源流としている、ということを知った（スママセン）感動でした。空手は既に190以上の国と地域、そして世界に約1億人の愛好家がいるといわれていますが、オリンピックを契機にますます世界で盛んになればその発祥地沖縄の価値はどんどん上がっていき、世界中の愛好家はその聖地として沖縄を訪れてくれることになるのでしょうか。とてもわくわくします。

さて、プロ野球や、サッカーのキャンプ地としてすっかり定着した沖縄ですが、今後ますます、成長産業としてのスポーツ振興に注目が集まっていきそうです。今、国をあげて2020年東京オリンピックでのメダルの量産にむけ選手強化に取り組んでいますが、スポーツを日本経済の起爆剤にしていこう、という動きが経済産業省を中心に政策化され活発化しているようです。先進国や新興国の産業市場別規模の平均はGDPの約3%で、日本はまだ1%（約5兆円）にとどまっているとの事。アメリカのアメフトの市場規模が9,600億円に対して日本のプロ野球1,400億円、読売ジャイアンツの収入が218億円に対してリアルマドリードが746億円、この数字を見ても日本のスポーツ産業の「伸びしろ」がまだまだ大きいことがわかります。世界並みのGDP比3%に引き上げれば10兆円の市場が創出できる、という計算になります。

国の動きと連動して、沖縄をジュニアスポーツや障害者スポーツを含めたスポーツコンベンションの誘致や、プロスポーツ、人材の誘致に力を入れ、アジアのスポーツのメッカ、聖地としての地位を不動のものにしていきたいものです。気候に恵まれた沖縄は野球やサッカーのキャンプ地という以外でも、陸上競技や、競輪など実にさまざまスポーツのトップ選手が沖縄を拠点にトレーニングしていることは周知の事実です。プロスポーツの創設においても、沖縄のプロバスケットボールチームの成功例にも見るとおり、関係者や指導者の熱意で、なんとかなるものです。個人的な希望は、やはり、一時話題にも上がった、「沖縄にプロ野球球団を作り、台湾のリーグに参加！」です。この目の付け所が、なんともすばらしい。夜のイベントに乏しい沖縄で夏、ナイターの国際試合が毎夜繰り広げられる。ほんとにぞくぞくわくわくします。関係者の皆様、ぜひ頑張ってください。台湾とは正式な国交がない？そんなもの、今熱愛が始まりそうな、両国政府の智慧の出し具合でなんとかなるのでは？

(株)おきぎん経済研究所 代表取締役社長 出村郁雄)